



南大隅町町章

町民と行政のかけはし 南大隅町

みんなの議会



9月7日、集団災害事故に備えて、訓練実施!

6月定例会及び臨時会

- 議会構成等 P2・P3
- 6月定例会・臨時会の主な議決内容 ... P4・P5
- 町長施政方針 P6
- 5議員が一般質問 P7~P12
- その他 P12

● 発行 ●
南大隅町議会
● 編集 ●
議会だより編集委員会

〒893-2501
鹿児島県肝属郡南大隅町根占川北226
電話 0994-24-3111
(内線332番)

第 17 号
平成21年9月

町議会議員選挙が四月十九日に行われ、町民の代表として十六名の議員が選出されました。五月一日には初議会(臨時会)が開催され、議長に大村明雄氏を再任、副議長に川原拓郎氏を選任しました。

また、各常任委員会等の議会構成も決定しました。早速、議案審議等も行われ、南大隅町としての二期目の議会が始動したところです。

尚、五月二十八日に第二回臨時会、六月

に定例会、七月六日に第三回臨時会を開催しましたので、その議決事項等についてお知らせいたします。

**新体制16議員
新たな議会スタート!**

議長 **大村明雄**
副議長 **川原拓郎**

議会構成

委員長 副委員長

常任委員会	総務常任委員会	経済建設常任委員会	文教厚生常任委員会
	竹之内 勝 男	持 留 秋 男	中 村 雅 之
	井之上 一 弘	平 原 熊 次	大 塚 成 章
	新 坂 正 次	前 田 信 親	大内田 憲 治
	水 谷 俊 一	日 高 孝 壽	牧 勝
	川 原 拓 郎	大久保 孝 司	宇 野 仁 一
			大 村 明 雄
議会議員 一部事務組合	大隅肝属地区消防組合	大隅肝属広域事務組合	南大隅衛生管理組合
	前 田 信 親	大内田 憲 治	牧 勝
	日 高 孝 壽	宇 野 仁 一	新 坂 正 次
			水 谷 俊 一
議会運営 委員会	竹之内 勝 男	持 留 秋 男	中 村 雅 之
	井之上 一 弘	平 原 熊 次	大 塚 成 章
	川 原 拓 郎		

監査委員 大久保 孝 司

議長就任の挨拶



大村明雄

町民の皆様には、平素より町政並びに町議会に対し、格別のご協力とご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

初議会となる第一回臨時会において、議員各位のご推挙を得て、二期目の議長に就任いたしました。身に余る光栄でありますと共に、改めてその責任の重大さを痛感しております。

さて、本町の大変厳しい財政状況を受けて、議会としては引き続き行財政改革等調査特別委員会を設置して、行政の無駄を徹底して省き、真に町民に資する事を追及して参る所存であります。町民目線で活発に活動する

フットワークの良い、議員・委員会・議会を目指すと共に、住民の代弁者として、『住民全体の福祉向上』『町勢発展』のため、一丸となつて積極的に努力致しますので、ご示唆・ご助言・情報等を賜りますようお願いいたします。

また、年四回の本会議を是非傍聴において下さるよう重ねてお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

副議長就任の挨拶



川原拓郎

この度、副議長の大役を担うことになりました。議員全員の協力を得ながら、議長をサポートし、微力ではありますが町勢発展のため鋭意努めて参る所存です。町民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

議員の紹介

掲載は議席番号順です。



前田信親



大内田憲治



平原熊次



大塚成章



新坂正次



竹之内勝男



中村雅之



日高孝壽



牧 勝



宇野仁一



井之上一弘



大久保孝司



水谷俊一



持留秋男

5/1 (第1回)
臨時会

議案

スクールバス購入契約の締結について

日産自動車(株)と小型バス29人乗り3台を購入契約するものです。

承認(専決処分)

税条例の一部改正について

・個人町民税における住宅ローン特別控除制度の創設
・固定資産税における土地に係る現行の負担調整措置を継続(23年度まで)

国民健康保険税条例の一部改正について

介護納付金に係る限度額を9万円から10万に改正するもの

会計区分	補正額	補正後の総額	主な補正内容
一般会計(補正9号)	2億2,009万0千円	72億7,635万4千円	・減債基金等積立金、特会繰出金等
国保特会(補正5号)	1億3,444万3千円	17億4,254万9千円	・保険給付費、保険事業費の減額等
簡水特会(補正4号)	625万0千円	8億7,722万7千円	・工事請負、簡易水道事業債の減額等
老保特会(補正3号)	2,208万0千円	2億5,653万8千円	・医療諸費及び予備費の減額等
介護・保険特会(補正5号)	1,129万4千円	10億7,898万9千円	・保険給付費、地域支援事業費の減額
後期高齢特会(補正3号)	3,004万0千円	1億3,028万3千円	・医療保険料の減額等

平成20年度補正予算
6件(左記のとおり)

同意

教育委員会委員の任命について

田中純也氏を再任することに同意しました。

教育委員会委員の任命について

田中哲志氏を再任することに同意しました。

固定資産評価員の選任について

木之下実氏を選任することに同意しました。

監査委員の選任について(議選委員)

大久保孝司氏を選任することに同意しました。

5/28 (第2回)
臨時会

発委

議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

人事院勧告を尊重し、議員自ら今年6月期末手当について0.15ヶ月分の削減を行うものです。

議案

町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

人事院勧告を尊重し、今年6月期の一般職員の期末勤勉手当を0.2ヶ月分、町長・教育長の期末手当を0.15ヶ月分減額するものです。

消防ポンプ自動車購入契約の締結について

鹿児島消防防炎(株)と消防ポンプ自動車1台を購入契約するものです。

承認(専決処分)

さたでいランドの指定管理者の指定について

合同会社 岬(代表社員 石塚康秀)を21年5月16日から23年3月31日まで指定管理者とするものです。





6月9日～6月26日
までの18日間の会期で
開催され、議案審議の他、
森田町長による施政方
針が述べられ、新議員
を含む5名の議員から
一般質問がなされました。

6月(第2回)
定例会

議案

議会の議決すべき事項
を定める条例の一部
改正について

『定住自立圏形成協定を
締結し、若しくは変更し、
又は廃止を求める旨を通
告することを定めること』
の条文を追加するもの

報酬及び費用弁償等に
関する条例の一部改正
について

国民健康保険保健師の月額
報酬を20万円とするもの

辺地総合整備計画の変
更について

- ・佐多郡地内(岩下)古里線(道路工法の変更)
- ・佐多郡診療所の医療機器の老朽化に伴う線装置の整備

発議

振り込め詐欺撲滅に関
する決議について

近年、振り込め詐欺等の
被害が全国的に急増し、

その他

錦江署管内でも20年度末
で3件131万円の被害が出
ており、高齢者を狙った
被害の拡大が懸念される。
本町でも4月に入り、198
万円の被害が発生してお
り、振り込め詐欺撲滅を
明確に示すことを決意す
るものです。

選挙管理委員会委員及
び同補充員選挙につ
いて

【選挙管理委員会委員】

- ・中村 眞朗 ・伊 東 學 行
- ・南 正文 ・篠 原 敏 行

【選挙管理委員会補充員】

- ・徳 永 あゆみ (補充順位1)
- ・天目石 幸 一 (補充順位2)
- ・中 村 八重子 (補充順位3)
- ・園 田 瑞 穂 (補充順位4)

会計区分	補正額	補正後の総額	主な補正内容
一般会計(補正1号)	1億9,480万1千円	58億8,392万3千円	・道路整備事業、補助費等関連事業等
一般会計(補正2号)	4億6,722万3千円	63億5,114万6千円	・地域活性化経済危機対策臨時交付金等 (7/6第3回臨時会にて可決)
国保特会(補正1号)	4,200万9千円	17億3,690万4千円	・後期高齢者支援金等確定に伴う増減等
老保特会(補正1号)	1,552万8千円	5,053万8千円	・前年度実績に伴う一般会計繰出金等
後期高齢特会(補正1号)	28万6千円	1億4,315万9千円	・被保険者還付金

21年度補正予算につ
いて(左記のとおり)

報告

一般会計繰越明許費繰
越計算書について

『定額給付金事業』、『地域
活性化生活対策臨時交付
金事業』、『公共土木施設
災害復旧事業』の3事業

簡易水道事業特別会計
繰越明許費繰越計算書に
ついて

根占中央地区針馬場水源
取水ポンプ取替事業

7/6(第3回)
臨時会

同意

副町長の選任について

角園健二氏を選任する
ことに同意しました。

南大隅町第二代町長として、町政を進めるにあたり基本的な考え方、所信の一端を述べます。

今回、多くの町民の方々のご意見・ご要望を拝聴することができました。主に「コミュニティ機能」「医療」「防災」の3点に要約されるかと思えます。

町民の懸命な思いを真摯に受け止める時、大変困難な課題であることを十分認識しながらも、あえて「人口減少の阻止」を、政策遂行のスローガンといたしました。

目標実現のため、3つのテーマを中心に、政策遂行に取り組んでいきたいと思えます。

- (1)「暮らしやすい、心の通い合う、安全安心な町づくり」
- (2)「地域資源を活用し、経済基盤の自立した町づくり」
- (3)「広域ネットワークによる、開かれた文化の薫り高い町づくり」

政策については、「総合振興計画との整合性」を図り、今後計画していく「各種振興計画」に伴う予算編成を通じて具体的に提起していきたいと思えます。また、政策実現に向けて短期（平成21年度から23年度）、中長期（平成22年度から26年度）の計画設定で進めていく考えです。

今回の補正予算編成にあたり留意したことは、緊急課題の対応はもとより、南大隅町の将来を見据えたスタートの年にしていきたいと考えており、仮称ですが、町全体を考える「町おこし検討会議」・「農工商連携推進会議」、それと行革の一環として「行政組織機構改革推進委員会」の設置であります。この3組織を中心に、今後の「町の在りよう・町の持っているポテンシャル(可能性や潜在的な力)」を如何に高めていくか、研究・検討を進めていきたいと思えます。

具体的な事業の中身について申し上げます。

- (1)「暮らしやすい、心の通い合う、安全安心な町づくり」について
橋梁や町道などライフラインの整備、点検を進めていく計画です。
人権活性化事業を関係機関と連携して進めていきます。
防災関連施設の整備促進を図っていきます。

- (2)「地域資源を活用し、経済基盤の自立した町づくり」について
「かごしまブランド」として県の認証を受けている「黄金カンパチ」・「なんぐう春バレイショ」・「減農薬ピーマン」の規模拡大や畑地における新品目の定着・増反、又、「白木系統」「第一花園」等のブランド牛の保留に努め、南大隅牛として産地化に努力していかなければならないと思えます。「農工商連携推進会議」において、方策を検討していきたいと思えます。

- (3)「広域ネットワークによる、開かれた文化の薫り高い町づくり」について

地域コミュニティ活動の推進を図ってきたいと思えます。また、郷土史の編纂や民族・郷土芸能等の存続対策を検討しなければならないと考えています。

次に、職員の定数管理について、合併4年間で退職・出向した職員33名に対し、新規採用者は3名です。更に今年度末8名の退職者が見込まれており、事務遂行の停滞が想定されますので、今年度、若干名の職員採用を考えています。新卒者に限定せず、専門性をもった即戦力、マーケットリサーチ能力も応募基準に入れた選考を考えてみたいと思えます。

終わりに、依然として閉塞感が漂い、先の読めない厳しい社会環境が続いております。よく「朝の来ない夜はない」と言われますが、時間に流されることなく「明るい夜明け」に向かって全力投球していきたいと思っております。

町民の皆様、議会の皆様方のご理解ご支援をよろしくお願いいたします。



森田町長

(要約して、掲載しています)

施政方針

一般質問

6月議会では、5議員より一般質問がありました。その要旨は次のとおりです。



宇野仁一議員

観光事業について

【宇野】 施政方針では、パノラマパーク西原台の整備により、観光事業を推進されるとあるが、その概要と展望を伺う。

【町長】 完成後10年が経過しており、経年変化による基礎材の剥離等が著しく、整備計画したところですが、展望としては、近年、大隅半島唯一のパラグライダー基地として大会も年複数回開催されて

おり、観光スポットとして定着しつつあり、商工観光課とも連携しながら観光PRを推進していきたいと考えています。



【宇野】 さたでいランド活用策を伺う。

【町長】 現在、合同会社『岬』が指定管理者として管理運営をされています。町としても、雄大な自然を活かした本町の魅力を発信し、昨年度から実施している体験型観光等のり

ピーター獲得に繋がりたいと考えています。民間のノウハウを活かし安定した経営が続けられるよう観光施設運営委員会等を通じて、さたでいランドの活用策を図りたいと考えています。

【宇野】 施政方針には、佐多岬観光が全く触れられていないが、本町観光の軸として考えるべきは佐多岬ではないかと思うが、佐多岬観光の推進策についてどのように考えているか伺う。

【町長】 佐多岬は、観光振興策上で欠かせないものであると同時に、最大の懸案事項でもあり、老朽化した展望台やレストラン跡の問題など本町だけでは解決できない問題が山積しています。現在、国・県・施設管理者と共に協議をしている状況です。尚、観光浮揚策としては佐多岬トレッキング

やトビウオすくい等の事業を官・民協力して20年度から実施しています。いずれにしても、佐多岬の問題解決が最優先と考えています。

人口減少対策について

【宇野】 町長の選挙公約の大きな柱でもあるが、人口減少に歯止めをかけ、親子で生活できる町づくりの具体的政策を伺う。

【町長】 私の大きな政策課題でもあります。当然就業機会確保が一番ですが、地理的にも企業の進出は極めて厳しい現実があります。我が町の振興を図る上で、やはり一次産業抜きには考えられないと思います。南の温暖な地の利を活かした産物は、他との差別が可能です。尚、製造中の地域雇用創造推進事業を活用し、

起業・創業延びては商品開発、販路拡大を確立し、就業機会の増を図りたいと考えます。

高齢者対策について

【宇野】 高齢者の生活観をどのように考えているか、また、その対処案を伺う。

【町長】 日常生活において、不安なことは病院や買い物等の交通手段かと思えます。今後、大隅定住自立圏構想の取り組みに、福祉有償運送事業（福祉施設等が事業主体となり、自家用車を利用して、障害者や要介護者の移送を行うもの）を取り入れられないか協議していくところです。この他、『地産地消』の取り組みにより、収穫の喜びや生きがいづくりに貢献し、延いては介護予防・医療費の抑制にも期待できると考えています。

核廃棄物処分場について

【宇野】核廃棄物最終処分場誘致について、どのように考えているか伺う。

【町長】19年3月、『原子力発電環境整備機構』から説明を受け前町長・議員の皆様は勉強会をされています。その後、県知事が誘致反対を表明され、また、前町長も誘致断念を表明されています。経緯を冷静に見ますと行政からアクションを起すべきでないと考えています。また、県知事は、『南大隅地域は観光産業の発展や安心安全な食の供給という新たな農業の開ける地域』と発言されておりますが、私の考えもこの方向性であり、『農商工連携による町の活性化』を目指していきたいと思えます。

選挙管理体制について

【宇野】投票後の移送管理体制は適正に行われていたか伺う。

【選挙管理委員会書記長】投票所から開票所までの投票箱等の移送については、投票管理者と投票立会人の二人一組で移送します。

【宇野】開票作業に長時間を要したが、反省・改善点はなかったか。

【選挙管理委員会書記長】開票事務については、疑問票の確認作業に時間がかかった点もあり、今後検討し、具体的な改善策を図っていきたいと考えています。

職員採用について

【宇野】本町唯一の『県立南大隅高等学校』の卒業生を対象とした採用枠を設ける考えはないか。

【町長】職員適正化計画では22年4月1日の職員数は155名となっていますが、既に148名まで減少する事が見込まれています。よって今年度、若干名の

職員採用を実施する考えです。採用にあたっては基本的な考え方として、地元から優秀な人材を採用する方向で思っています。ただ、職員構成に断層があるので、全てを新卒と限定することなく特産品の開発、加工及び販売力等、即戦力も重視していきたいと考えています。



大久保孝司 議員

国民健康保険事業について

【大久保】前年度と比較して基金繰入が急激に伸びているがその原因は何か。

【町長】20年度、新たに後期高齢者医療制度が開設され、部分的な税率調整も行いましたが、本賦課

において、保険税の減額補正に至り、基金を充当しました。又、年度途中に医療費高騰等に伴い医療費の増額補正を基金より充当しました。21年度においては、20年度の医療費の実績を踏まえ医療費の計上を行いました。6月補正において、拠出金等の確定に伴う不足分について、基金繰入を計上したところでです。

【大久保】税収・基金残高の減少に伴い、保険事業の運営が危惧されるが、その対策と進捗状況はどうか。

【町長】国民健康保険税については、国保事業の運営に大きく関わりますので、納税意識の高揚を図り、税収確保に努めて参ります。また、納税者の理解を得ながら、『税率改正』も検討していきたいと考えています。保健事業については、20年度より40歳から74歳までの特定健康診査が始まり、又、国保の保健師を雇用し

てジェネリック医薬品の啓発活動等を行うなど、医療費抑制にも努めているところ。今後、将来に向けた持続的・安定的な運営を確保するため、収納率の向上、医療費の適正化、保健事業の推進等、積極的な経営努力を図って参りたいと思えます。

【大久保】独自採算性の事業であるが、法定外繰入を考えているか。

【町長】基金残高から考えても非常に時間的に厳しいものがありますが、まずは経営努力が必要ではないかと思えます。具体的にはウォーキングのような健康増進活動の推進、また、税率の見直しも必要かと思えます。後、広報活動を通じて国保被保険者の意識改革等に取り組みなどし、運営の安定化を図りたいと考えています。その上で、法定外繰入を考えざる得ない状況があるのではないかと思えます。



学校教育について

【大久保】現在、県内において法定外繰入をしている市町村はいくらあるか。

【保健課長】県下45市町村の内の23市町村が法定外繰入を行っています。尚、大隅地区においては、5市町が繰入をしています。

【大久保】小学校統合への町長の考えを伺う。

【町長】小学校統合については、20年9月1日か

ら委員15名で構成する学校問題検討委員会を設置し、今後の小学校のあり方について検討して頂いておられます。委員会の答申を踏まえ、地域の活性化を考慮しながら、学校のあり方については検討していきたいと思っております。尚、私の考えとしては、学校は在るべき姿だと思っておりますので、なるべく存続させる方向でいきたいと思っております。

【大久保】統合による地域・児童におよぼす影響を踏まえ学校問題検討委員会等での状況はどうか。

【町長】委員会を3回開催し、これまでの話し合いでは、教育を受ける子供の立場からは、小規模校では友達との関わりが限られ、集団として育んでいかなければならない教育活動が思うようにできない」といった事が、また、地域の活性化を望む立場からは、小学校が無

定住自立圏構想について



水谷俊一 議員

【水谷】農業部会・観光交通部会・漁業部会・医療部

くなると地域が疲弊する』などが挙げられており、更にこれから協議を深めていく段階であります。委員会では今後、最近統合した学校について調査し、研究検討を重ね、年度末には答申を頂く計画であります。尚、教育委員会でも、PTA総会や諸会合の中で『小学校のあり方』について問題提起し、町民一人一人の意識の高揚を図っています。今年度は、委員会の答申を踏まえ、町民の意見を十分取り入れ、小学校のあり方について、方向性を定めていきたいと考えています。

会に分かれ、9月の協定締結に向け、専門部会で協定内容について協議がなされていくが、現時点では是非とも締結したいと考えている事項があるか。

この事業を柱に推進していきたいと思います。

【水谷】「定住自立圏構想」を、どのような視点に立って推進していく考えであるか。

【町長】現在、4市5町の担当課長で構成する部会で協議検討を行っています。『農業分野』では、畑かん整備に伴う営農体系の確立、圏域内の粗飼料自給率の向上、行政区域を越えた生産組合の組織化等を考えています。『漁業分野』では、地産地消と担い手育成に向けた取り組み、カンパチ・ブリ養殖の振興、地域の水産物の販路拡大、観光・交通分野』では誘客及び観光資源のネットワーキングの推進、地域公共交通のネットワーク化の推進、生活交通の確保、地域医療分野』では、高齢者等、交通弱者の通院手段の確保、緊急医療体制の維持確立を掲げています。いずれも緊急、即実施を要するもので、

【町長】この構想の基本的な考え方は、中心市に都市機能の強化、周辺市町に生活機能の確保を行い、人口流出の抑制と定住促進による地域活性化を目指す取り組みであります。要するに、大隅全体の暮らしに必要な機能を中心市に集約的に整備、周辺部では農林水産業の振興や自然環境の保全を図るなど、互いに連携協力することにより、大隅全体の活性化を目指すものであります。よって本町においては、少子高齢化が急速に進行し、人口減に歯止めがかからない中で、都市圏への人口流出防止、地方圏への人の流れを創出するという観点から、本町の持つ特性

いわゆる農林水産業振興を核にした取り組みを推進したいと考えています。その他、地域コミュニティ、歴史・文化の持つ特性も大きな要素ですので、都市圏の住民にもライフスタイルに応じた居住の選択肢を提供し、地方への人の流れを創出する取り組みを検討しているところといます。

地域経営推進事業について

【水谷】本年度、佐多地区において実施されるモデル事業で、これも「集約とネットワーク」を基本構想とするものであり、中心集落への生活機能の集約化、また、周辺集落から中心集落への交通手段の確保等を模索する社会実験と認識しているが、この事業を今後どのように我が町に反映していく考えか。

【町長】今回の実証実験では、定住自立圏構想にある周辺市町の中心集落に、生活に必要な機能を集約化すること、あるいは基礎集落と中心市を繋ぐ中継基地としての機能強化を図ることをモデル的に行うものです。今回は佐多地区の中心集落として伊座敷に生活機能の集約化を図り、物・人の流れを検証するものです。

この結果を元に、中心市の鹿屋との物・人の流れ、また鹿屋との中継集落として何が求められているのか等検証し、社会資本の管理・整備の重点化、新たなサービスの創出など、効果的・効率的な地域作りの推進を図るものです。

【水谷】今回の調査計画に医療部門が入っているか。

【企画課長】大きな柱は、無人市・移動販売・交通手段であります。医療部門は現時点では入っていませんが、予算の範囲以内で断

続的に運用が可能であれば、国交省と協議して、入れて調査してみたいと考えます。

地域公共交通活性化再生創業者について

【水谷】地域公共交通活性化再生協議会(仮称)なるものを発足し、現行の通学バス・温泉バス等もひっくるめて、町内全域で交通空白・交通不便地域の解消を図り、高齢者・学生等が公共交通機関を利用して



町内移動ができるような地域福祉バスの導入を検討していく考えはないか。

【町長】現在、根占地区では、スクールバスによる混乗、福祉バスの運行、佐多地区ではスクールバスによる混乗、コミュニティバスの運行により、住民に必要な生活路線の確保をしていますが、時間・コースの調整の余地はあるうかと考えています。効果的・効率的な運営並びに利用者の利便性に供するよう調整を図っていききたいと思います。



大内田憲治議員

安全・安心な町づくりについて

【大内田】自治会担当職員が配置されていると思

うが、それを活用して独居高齢者等に心の通う行政は図られないか。

【町長】まず自治会担当職員の配置ですが、この事は、限界集落の現状を調査・分析する為、全自治会に調査員として職員を配置したものです。調査を元に自治会再編も検討されており、来年度からの本庁方式に向け、本庁・支所の行政組織機構の見直し等も検討しているところといます。この事を念頭に置いて自治会担当職員の必要性を考慮し、研究・検討して参ります。ご質問の独居高齢者等にとつては、「話し相手が欲しい」という声をよくお聞きしますので、地域サロンへの参加呼び掛けをして参りたいと思えます。また、民生委員や在宅福祉アドバイザーの活動を通じて、定期的な訪問もお願ひしているところとあります。

【大内田】長島町では業務の合間に毎月300戸訪問され大変喜ばれているという記事を見ました。本町でもこのような事が行われますと、非常に安心安全な町になるんじゃないかなと思うが、この点についてどう考えるか、

【町長】職員数の減少並びに業務が増えてくるという実情でもあります。地区担当を貼り付けて、どの程度のものでできるか。また、なかなか現場に行けない担当もあるうかと思えます。組織編制を考えていく中で検討して参ります。

【大内田】各自治会に共同扶助組織なるものは作れないか。

【町民福祉課長】福祉サービスとの低下を招かぬよう、地域・自治会そのうちで、官民一体となった福祉サービスの向上に努めていきたいと考えています。

**旧根占中グラウンド
活用について**

【大内田】健康づくり・体力づくり・生きがいづくりの場として活用できる施設を設置する考えはないか。

【町長】旧根占中グラウンドは、『生き活きサロング事業』の一環として整備されておりましたが、3月議会において、施設を社会体育施設から除外し、現在は、普通財産として総務課が管理しています。今後、健康づくり、体力づくり等の観点から社会体育施設として必要であるか検討したいと考えています。

【大内田】体力づくり・健康づくりに『グラウンドゴルフ』を楽しんでいらつしやる方もおられますが、グラウンドは、非常に草が生い茂った状態である。今度の地域活性化経済危機対策臨時交付金を活用して

整備する考えはないか。

【町長】グラウンドの整備や管理については、共生共同で地域住民と一体になって、一緒に管理して頂くというような姿勢を考えております。



(旧根占中グラウンド)

【牧】人口減少阻止をスローガンとされているが、農業等法人化を進め、生産、加工、販売等による定住人口増の施策は考えられないか。またその他のような施策を考えているか。

【町長】現在南大隅町担い手育成総合支援協議会において、農業者の法人化等も検討・推進されているところであり、確かに法人化のメリットとして、『地域における就業の場の確保』という点はあります。ただし、法人化には、労働保険や社会保険の整備などコストがかさむ事や赤字でも県民税・

**人口減少歯止め
策について**



牧 勝 議員

市町村民税の均等割額の納税をしなければならぬ等の注意点もあります。法人経営には、個人経営以上の発展可能性が期待できますが、同時に雇用者への責任も生じ、経営に対する厳しさも要求されます。

法人化を進め、雇用拡大・定住人口増を図ることは重要であり、より一層進めて参りたいと考えています。最終的な法人化の判断は、個々の経営体に委ねられるものと考えます。

町の役割は、地域経済、特に一次産業である農業等の経営基盤の強化を図ることであり、それと共に生産・加工・販売、いわゆる農工商連携のシステムを構築する事だと考えています。併せて、今進めています地域雇用創造推進事業の活用による一次産品の発掘と商品の開発・販売という一連の事業を推進し、一次産業の振興を図って参ります。

資源を活用した
振興策について

【牧】施政方針の中で、資源を活用した振興策が示されているが、その他には考えていないか。

【町長】『その他』という事でお答えします。施設栽培等多品目にわたり豊富な資源と認識しております。しかし、栽培面積が小規模で、商品化に及ばないものが多数あるこ



とも事実であり、これらの産物の集約化が緊急な課題の一つかと思えます。又、規格外の産物の有効活用として商品化が農業振興上欠かせない課題であります。そのようなことから、地域雇用創造推進事業を活用し、新たな商品開発を模索しているところでもあります。尚、農商工連携会議とも調整を図り、一次産業の振興を推進し、二次・三次産業への拡大を期待するものでもあります。

この他、地理的要因では、辺塚の自衛隊射撃場など、交流人口の増加や、常駐人口の増加を図りたいと考えています。また、体験型観光や滞在型観光という部分で水産資源や山の資源等も活用していきたいと思えます。それと、姉妹盟約をしている庄行鎮との経済活動等も繋げていきたい。安心安全な特産品を国外にも輸出したいというような考えも持っています。



(辺塚自衛隊射撃場)

一般質問については、要旨のみ掲載しています。尚、会議の詳細については閲覧もできます。

議員派遣について

郡議長会主催

【全議員研修会】

【正副議長・正副委員長研修会】

県議長会主催

【常任委員長研修会】

県議長会等主催

【市町村政研修会】

【市町村政研修会】

委員会の閉会中の継続審査並びに調査申し出について

総務常任委員会

【交通安全施設等調査】

文教厚生常任委員会

【町内小中学校等調査】

経済建設常任委員会

【災害復旧状況等調査】

議会運営委員会

【次期議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項について】

行政改革等問題調査
特別委員会を設置！

行政改革等の課題や問題について、本町の行政改革の状況や他市町村の動向・概要等を調査するため、本会を設置し、これに付託して調査することに決定しました。また、議長を除く全員で構成し、委員長に「竹之内議員」、副委員長に「井之上議員」が決まりました。より一層の行革に努めて参ります。

議会を傍聴してみませんか！

議会は、年に4回(3月・6月・9月・12月)の定例会と必要に応じて開かれる臨時会があります。

傍聴にはお気軽にお越しください。

日程等詳しい事は、議会事務局(TEL24 3111)までお問い合わせください。